

埼玉県信保協、アニメCMで支援策PR 金融機関の電子看板などを通じて

2024.12.02 19:07

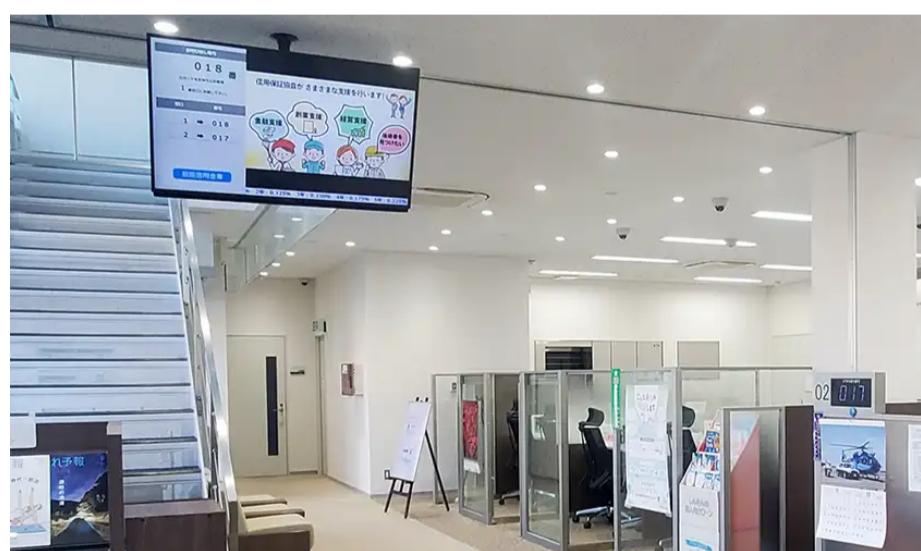


エキサイトビジョン大宮アルシェのCM放映の様子（中央、12月2日、JR大宮駅西口前）

埼玉県信用保証協会（砂川裕紀会長）は12月2日から順次、さいたま市内の駅前商業ビルの大型ビジョンや、県内金融機関営業店のデジタルサイネージ（電子看板）などを通じて、同協会の支援策を紹介するアニメーションCMを配信している。中小企業・小規模事業に対して、協会の認知度向上や利用促進を図るのが狙い。

動画は大型ビジョンが1回15秒で1時間あたり6回表示。銀行や信用金庫向けは1回30秒で1時間あたり1回表示。同信保協が展開する金融、創業、経営、事業承継の4つの支援策を親しみやすい絵柄のアニメで紹介する構成とした。

大型ビジョンの配信は、JR大宮駅西口のエキサイトビジョン大宮アルシェが12月2～31日、JRさいたま新都心駅改札正面の映像装置は2025年1月1～31日に配信する。



飯能信金さいたま中央支店でのCM放映シーン（左上、12月2日）

飯能信用金庫（埼玉県、松下寿夫理事長）は12月2日から全店の電子看板で放映を始めた。武蔵野銀行や3信用金庫（埼玉県、川口、青木）にも提案しており、要望に合わせて順次拡大していく。埼玉りそな銀行では10月1日から既に放映を始めている。